

## 令和4年度 新宿区立戸山小学校 経営計画

校長 百合野 壽郎

☆ 子どもにとって	「通ってよかった戸山小」
☆ 保護者にとって	「通わせてよかった戸山小」
☆ 地域にとって	「地域が誇れる戸山小」

## I 教育目標

人間尊重の精神を基調に国際的視野に立ち、世界に貢献できる、人間性豊かな心身ともにたくましい人間を育成するために、次の目標を設定する。

- ◎自ら学び行動する子ども（知）
- 強い心とじょうぶな体の子ども（体）
- ルールを守り仲良く力を合わせる子ども（徳）
- 心の美しい思いやりのある子ども（徳）

## II 経営方針

## 1 目指す学校像

## 【子どもが主役の学校】

## (1) 人間性豊かな優しさを育む学校

- ・東京都の人権教育の目標を踏まえ、ダイバーシティマネジメントを推進します。
- ・偏見や差別のない、子ども同士の温かい人間関係を構築します。
- ・一人一人の子どもの心に寄り添い、子どもの個性を引き出し、生かす教師を育成します。

## (2) 規律と自主性を育む学校

- ・子ども達が、人間尊重の精神を基盤とした社会性を身に付け、決まりのある生活をおくれるようにします。
- ・子ども達が、自ら課題を見付け、考え、学びに取り組める、主体的学習を進められるようにします。

## (3) 安心・安全な学校

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底を通して、子ども達が安心して学び、健康的な学校生活を送れる環境を維持します。
- ・安全教育（生活・交通・災害）に取り組み、子ども達が自らの危険を回避する能力を身に付けられるようにします。

## (4) 確かな学力を身に付ける学校

- ・「東京都授業改善推進拠点校」として、初年度の研究成果と課題をもとに授業の改善に向けて取り組みます。
- ・教育活動に加え、日常的にSDGsに積極的に取り組み、サステナブルな社会の実現を目指し

て、持続的な社会を作る基盤を身に付けられるようにします。

- ・子ども達に必要な資質・能力（①「知識・技能」の習得②「思考力・判断力・表現力等」の育成・③「学びに向かう力・人間性等」の涵養）を育成します。
- ・家庭、地域、関係機関（大学・企業等）も含めた、学びの創意工夫と子ども達に多様で質の高い学びを提供します。

## 2 目指す児童像

- 自ら主体的に問題を気付き、考え、学ぶ子ども
- 自他の生命を尊重して、自分自身の安全を守る子ども
- 生涯にわたり健康の保持増進を図ろうとする子ども
- 健康で明るく豊かな感性をもった子ども
- 社会の一員として、社会性や道徳性をもった子ども

## 3 目指す教師像

- 子ども達の心身の健康・安全に取り組む教師
- 子ども達一人一人の資質・能力を向上させる教師
- 一人一人の児童に寄り添い、家庭や関係機関と連携し、児童理解に根差した生活指導に取り組む教師
- ライフ&ワークバランスの視点を積極的に取り入れ、心身ともに健康で、元気に子ども達と接する教師
- 地域の人材や環境などの特性を理解し、地域とともに子どもの育成に関わる教師

## 4 経営理念

### （1）子ども達の安全・安心を最優先に取り組む学校

#### ① 清潔・安全に配慮され、教育活動に適した環境整備に取り組む学校

- ・新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、新宿区教育委員会指導助言のもと、学びを止めることなく、感染拡大防止を最優先し、柔軟かつ現状に即した対応を行います。
- ・校内の施設管理の点検を行い、校内の安全管理並びに校内美化に努めます。
- ・教室のユニバーサルデザイン化を継続し、インクルーシブ教育に対応した環境づくりを進めます。
- ・担任による、学びの教室の授業参観・補助体験を通して、教員の特別支援教育の理解の向上並びに学級における児童支援に役立てます。

#### ② 子ども達の心の安定を図る学校

- ・課題に対し、子ども達や保護者の立場に寄り添った対応を行います。
- ・学校全体の教育活動を通し、子ども達の自己有用感、自己肯定感を高めます。
- ・ダイバーシティーを認められるような環境を意図的に設定し、子ども達が人権意識を自然に身に付けていくようにします。
- ・全教職員の特別支援教育に対す専門性を高め、課題のある子ども達に適した教育環境の整

備や合理的配慮を行う。

- ③ 人権教育教育や特別の強化「道徳」の充実を図り、いじめを許さない学年・学級経営を図ります。それとともに、いじめの防止・対応・再発防止に向けて、全校体制で組織的解決にあたります。

## (2) 主体的・対話的で深い学びを進める学校

- ① 児童の実態や学びの内容に即した授業形態の取り組み（教科担任制・交換授業制・学年合同授業制・オンライン授業の多用化）の導入により、本校独自の特色ある指導方法の確立を進めます。
  - ・外部人材を活用した校内研修及び授業を行い、キャリア教育の推進を図ります。
- ② GIGA スクール構想に基づき、情報技術を適切かつ効果的に活用して、他者と協力して、問題を発見・解決したり、自分の考えを形成したりすることができる力を身に付けます。
  - ・6年間を見通した指導計画により、児童の情報リテラシーを高めます。
  - ・学年に応じた情報モラル教育を実施します。
  - ・タブレット端末を効果的に活用し、ICT 機器を授業に効果的に活用します。
- ③ 東京都オリンピックパラリンピック教育における「学校 2020 レガシー」として「ボランティアマインド」「障害者理解」「豊かな国際感覚の育成」に引き続いて取り組みます。
  - ・PTA や地域協働学校と連携し、ボッチャ体験やタグラグビー教室などに取り組みます。

## (3) 児童・保護者・地域の誇りとなる学校

- ① 地域貢献の推進、家庭、地域の教育力を生かした教育活動を進める。
  - ・地域協働学校と連携し、コロナ禍における地域との連携の在り方に工夫して取り組みます。
  - ・タブレット端末などを活用し、家庭教育への支援の在り方に工夫して取り組みます。
  - ・オンライン教育などを活用し、近隣学校（私立海城中学高等学校・私立保善高等学校・都立戸山高等学校）などとの連携（わくわくスクール・あいさつ運動）を行います。
  - ・学校の情報公開の向上（学校 HP・戸山日記・授業改善推進拠点校の研究成果発表・学年配信メールの積極的な活用）に努め、コロナ禍における学校情報の発信の充実を図ります。
- ② 児童が相互に認め合いながら、自己肯定感を育む学校
  - ・人権教育に取り組み、法教育やアンガーマネジメントを取り入れた授業を実施します。
  - ・学年担任制を取り入れます。また、教科担任制や交換授業等を積極的に活用し、教員の特性を生かし、質の高い授業作りに努めます
  - ・ICT 機器の活用により、不登校児童や長期欠席中などの児童に対する支援を進めます。
  - ・コロナ禍における特別活動（縦割り班活動）などの工夫改善に努め、集団生活を通して自己実現を図れるようにします。
  - ・大学や企業等との連携を強化し、先進的な指導法や教材の開発に努めます。

## 5 取り組み内容

### (1) 確かな学力の向上

#### 学校評価「子どもは授業が分かりやすいと言っている」

- ・タブレット端末などを活用し、コロナ禍におけるアクティブラーニングを取り入れた学習方法の実践（主体的・対話的・深い学びの取り組み）に取り組みます。
- ・GIGA スクール構想に基づき、指導と一体化した情報機器能力を育成（全教科における ICT 機器の活用）します。
- ・プログラミング教育を推進（学校公開時における公開授業の実施）する。
- ・辞書引き学習や読書活動の推進により、語彙の獲得とコミュニケーション能力の向上を図り、授業改善推進拠点校の取り組みとして、「自らが考え、思いをもつ」児童の育成を図ります。

### (2) 豊かな心の育成

#### 学校評価「学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる」

- ・全教育活動を通して、人権教育を推進（人権教育プログラム・外部人材の活用）します。
- ・ダイバーシティの取り組みとして、認め合う、思いやりのある教育を推進します。
- ・学校全体で、教育の場にふさわしい言語環境（あいさつ・言葉使い・話し方・ふわふわ言葉を増やす活動）のを整えます。

### (3) 体力の向上

#### 学校評価「子どもは、運動や遊び方を通して体力がついてきている」

- ・東京オリンピックパラリンピック 2020 のレガシーとして、スポーツ志向を意識して、体験的な活動を重視し「する・みる・支える・知る」のスポーツとの多様な関わり方により、一人一人に合ったスポーツの楽しみ方を身に付けます。
- ・大学や近隣校との連携による、体力の向上に取り組みます。（日本体育大学・東京学芸大学・海城 中学校高等学校野球部等）との連携により、子どもの運動に取り組むの楽しさと技能の向上を図ります。
- ・コロナ禍における学校の新しい生活様式の定着により、健康について意識し、心やけがの防止・対応を身に付け、健康で安全な生活をおくれるようにします。

### (4) 創意工夫のある教育・地域に開かれ、根ざした学校作り

#### 学校評価「学校は子どもが学校に関わる地域の人と一緒に活動する機会をよくつくっていると思う」

- ・地域協働学校の取り組みとして、近隣学校（海城中学校高等学校・保善高等学校・戸山高等学校）との連携による長期休業中におけるわくわくスクールを実施します。
- ・地域協働学校の取り組みとして、月1回の「あいさつ運動」を行います。
- ・吹奏楽部や和太鼓クラブを通して地域行事に参加します。
- ・地域ボランティア活動を実施します。（総合的な学習の時間・児童会活動による学校クリン月間の実施等）
- ・全ての学年で、地域の方々を招いての体験授業を実施します。

(5) 教育の質・指導力の向上

学校評価「学校は学校にかかわる地域の人や専門家の人（学校外の人）から学ぶ授業をよく行っていると思う」

- ・都の授業改善推進拠点校として、1年目の分析結果に基づき、授業改善・OJT・面談・家庭学指導等の実践に取り組みます。
- ・学年毎に教育課題（法教育・アンガーマネジメント・プログラミング教育・藍染体験・SDGs）など児童の体験的活動を多く取り入れ、児童の主体的な学習を進めます。
- ・戸山太鼓や百人町踊りの講師として、地域の方々をお迎えし、学校や地域の伝統文化の継承に努めます。